

目次

- 一 總務部報告
- 一 組織部報告
- 一 宣傳部報告
- 一 教育部報告
- 一 機關紙部報告
- 一 選挙部報告
- 一 議會対策部報告
- 一 國際部報告
- 一 財務部報告
- 一 事業部報告
- 一 青年部報告
- 一 婦人部報告
- 一 勞働委員會報告
- 一 農村委員會報告

總務部報告

部長 三輪 輝明

昭和五年所、大会以後に於ける党活動の大要を報告すること左の如し、
 行委員会は左の如き執行方針を執行すべく、大会直後に同ハルを第一回中央執
 一、大会に依つて決定せられたる合同方針に従ひ、全合同に邁進すべし。各
 党大会の結果を待つて直に第二回中央執行委員会を用進すべし。
 二、労農組合職統一の第一歩として、党の労働委員会、農村委員会を督励
 し、支持労農組合の統一を促進すべし。
 三、大会決定の統一執行方針を徹底せしめ、党員活動の統一を期すべし。
 四、支部及び支部聯合会をして昭和六年度に於ける斗争の計畫案を決定せし
 め、地方斗争を意識化せしむべし。
 五、日常斗争の主力を(一)暴正突破、(二)失業反対、(三)農村窮民、(四)生活防衛
 (五)対第五十九議會斗争に注ぎ、(六)失業者の生活防衛、(七)生老防衛
 結核付付強力的に展開すべし。其の(六)の同打倒と帝國主義對斗争に
 六、類する労働争議、小作争議に對しては、その性質に鑑み、党の立場より
 七、これを政府の斗争に発展せしむべく積極的態度を執るべし。
 八、種々の同盟、特に朝鮮、台湾の同盟に對しては、台湾に於ては、大会決定に
 九、従ひ、種々の同盟を推進すると共に、種々の同盟を樹立するたため、政策委員